

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第141回 『幼児期の欲求や要求への対応』

みえ発達障がい支援システムアドバイザー 竹村 マミ

お店で「〇〇が欲しい」と駄々をこねた時、「ダメ」と言うと、大きな声で泣くので、「今日だけよ」と、買い与える。すると、次も「買ってー」と叫ぶ。「今日は買わないよ」と言うと、また、大声で泣く。「この前、言ったでしょう」と言うと、前回の倍の声で泣く。仕方なく買う。これを繰り返してしまうと、5倍、10倍の声で泣くようになります。なぜなら、泣けば買ってもらえるという学習をしたからなのです。

どうしても買わないようにしたいのであれば、欲しがる場所へ連れて行かないことですが、それは、中々、難しいかもしれません。それならば、まず、買い物に行く前に、事前を買わない約束をします。それでも、「買ってー」と言ったら、「欲しいよね、でも、約束したよね」と気持ちを受け止めながら、どんなに泣いても、「買わない」を貫き通してください。その場から退散するか、他のことに気持ちが向くように促してみることも良い方法です。決して怒らず、言葉を少なくして、ひたすら耐えてください。そして、泣き止んで我慢ができた時に、「偉かったね」と、しっかり褒めてあげてください。そうすれば、“どんなに泣いても買ってはもらえない” “我慢したら褒めてくれる”を学習していきます。

中には、物を欲しがることではなく、プラレールの電車を走らせていて脱線したとか、並べていた玩具が少しずれただけで、ひっくり返って大声で泣き叫ぶお子さんがいます。「嫌だったね」と言って抱きしめたり元通りに直したりすることで落ち着ける場合は、それで大丈夫ですが、声をかけると余計に泣き、中々、切り替えが出来ない場合は、まず、静かな場所で、そっとしておいてあげる方が良いでしょう。物を投げたり頭を打ちつけたりする場合は、物を無くして布団やクッションを置くなど、安全面に留意してください。泣き止むまでは、一切、反応しないことが、キーポイントになります。そして、落ち着いた時に初めて、スキンシップが取れるようであれば、しっかり抱きしめてあげてください。その後の説得はしない方が良いでしょう。

こういうことが、ずっと続くのかと心配になるかもしれませんが、今は、“まあいいか”と思えない状態、イレギュラーなことに体と心が適応できないのです。でも、1本道しかなければ、その道が塞がれたら先に進めませんが、他の道があることがわかれば、回り道をするように、いろいろな経験が積み重なることや、遊びの幅が広がることで、徐々に軽減されていきます。

※気になることがありましたら、子育て健康課（377-5652）までご連絡ください。

8月活動報告

夏休みおでかけ事業（あさひプチボラ事業）8月4日

南知多ビーチランドにでかけました。おもちゃ王国で遊んだり、水族館やいるかショーを見たりして、楽しい1日を過ごしました。



トミカプラレールランド



いるかショー